

PHJ メールニュース 2010年11月号
送信日時：2010年11月22日



PHJ メールニュース読者の皆様

秋が深まり、紅葉が美しくなりました。皆様お元気ですか？PHJ メールニュース 2010年11月号を配信いたします。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 11月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「アジアのおはなしカレンダー」配布中
- 1-2. タイ・カンボジアへの寄贈品と海上輸送の支援をいただきました
- 1-3. PHJ スタッフが HIV/AIDS 予防教育について講演しました
- 1-4. 多くのオブザーバーの方々も第41回運営委員会に出席して下さいました
- 1-5. むさしの国際交流まつりでPHJを紹介しました
- 1-6. 2011年2月タイ・カンボジアへのスタディツアーのご案内
- 1-7. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 外務省からPHJ事業に補助金をいただきました
- 2-2. マスクなど日本からの寄贈品が10病院へ配布されました
- 2-3. 知立ロータリークラブ様から小児心臓病手術支援・漫画本の寄贈を受けました
- 2-4. HIV/AIDS 予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 母子保健センター — ススカン村
- 3-2. トウンダ島に可搬型太陽光発電システム、分娩室付保健・保育所を寄贈していただきました

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. マスクなど日本からの寄贈品が保健省経由 82 病院へ配布されました

4-2. 保健センターと村とのネットワーク向上 — コンポントム州

4-3. 「安全なお産」支援募金が有効に使われています

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 「アジアのおはなしカレンダー」配布中

毎年恒例の PHJ チャリティカレンダーを配布中！題してアジアのおはなしカレンダー。アジア各国の子供たちがおとぎばなしをテーマに描いてもらった絵を掲載します。毎月、子供たちの絵とおとぎばなしをじっくり楽しめます。数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。http://ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_04

1-2. タイ・カンボジアへの寄贈品と海上輸送の支援をいただきました

日本企業数社から医療・健康用品を寄贈していただきました。(ユニ・チャーム株式会社様からタイ、カンボジア向けマスク、大和小田急建設株式会社様からタイ向け制服、大塚製薬株式会社様からカンボジア向けソイジョイ、サンスター株式会社様からカンボジア向け歯ブラシ) これらの海上輸送を商船三井株式会社様のご支援でタイ、カンボジアの港まで無償で輸送していただきました。関係各社の暖かいご支援に PHJ はもとよりタイ、カンボジアの保健省や医療関係者が感謝しております。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4cd25d718e692>

1-3. PHJ スタッフが HIV/AIDS 予防教育について講演しました

10 月 29 日、大阪府看護協会での HIV 予防教育リーダー養成研修が行われました。日本は、先進国で唯一 AIDS 患者が増加している国だとよく言われますが、その中でも大阪での増加率は驚くべき数字だそうです。また、性感染症や望まない妊娠が若者の間でじわりじわり増えているとのこと。これをなんとか食い止めようと、今回の研修が実施されました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/ HIV/AIDS 予防教育リーダー研修@大阪

1-4. 多くのオブザーバーの方々も第 41 回運営委員会に出席してくださいました

11 月 18 日 (木) 午後 5 時から 7 時 30 分 日本 GE 株式会社様の会議室をお借りして開催された第 41 回運営委員会ではインドネシア、カンボジア、タイの報告を現地の所長と東京のスタッフが行いました。オブザーバーとして個人会員の方々や、ご支援をいただいている企業野代表の方々も出席され、運営委員の方とともに貴重なアドバイスやコメントをくださいました。今後も PHJ の活動を多くの会員や一般の方にお知らせし、ご提案を頂く機会

を設ける予定です。

1-5. むさしの国際交流まつりで PHJ を紹介しました

11月21日(日) 11:00-17:00 武蔵境スイングホールで武蔵野国際交流協会(MIA)主催のおまつりが開催され、PHJは「アジアのおはなし」カレンダーの展示とPHJの紹介、MIA主催の各国の挨拶シール集めにタイ語での挨拶を担当しました。また45分のお絵かき教室では7名の子供が参加し「鬼退治」の絵を描いて楽しんでいました。ボランティアさんお二人も協力してくださいました。

1-6. 2011年2月 タイ・カンボジア スタディツアーのご案内

あなたの知りたい、に応えたい! PHJ スタディツアー

来年2月の春のスタディツアーの準備を始めました。昨年夏の1回目の公募スタツア、今年の8月企画から参加した埼玉大学(共生社会教育研究センター/教養学部)主催「異なる文化と出会う」でのスタツアに引き続き、今回で3回目となります。新着情報をご覧ください。<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4ce9c026403f5>

1-7. スタッフブログ

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. 外務省から PHJ 事業に補助金をいただきました

PHJではチェンマイ県で展開する子宮頸がん・乳がん早期発見・適切治療推進事業(3年間)について外務省 NGO 連携無償資金協力を申請していました。申請が承認され、初年度(2010年11月から2011年10月)は供与限度額2,709,300バーツ(738万円)の資金協力を頂くことになりました。11月2日在チェンマイ総領事館にて契約調印式が開催されました。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4cd2661bbec3c>

2-2. マスクなど日本からの寄贈品が10病院へ配布されました

ユニ・チャーム株式会社様からマスク 6360個、大和小田急建設株式会社様から制服450着を寄贈していただきました。11月11日チェンマイ県の医療従事者が使うマスクの寄贈式がチェンマイのラジャナガリンドラ子供発達支援センター(RICD)で開催され、ユニ・チャーム様から中井ユニ・チャーム・タイ社長ほか2名、受領者代表としてチェンマイ県保健局長、RICD 院長、はじめ10病院の代表と PHJ タイ代表が出席しました。制服はタイ北部で寒くなる12月に関係者に配布されます。

2-3. 知立ロータリークラブ様から小児心臓病手術支援・漫画本の寄贈を受けました

PHJがタイで行っている小児心臓病手術の5件を支援してくださっている知立ロータリークラブ様（CRC）の代表とメンバー10数名がチェンマイを訪問しました。11月15日 マハラジ・ナコーン・チェンマイ病院で寄贈式が行われ、CRC様から病院へ心臓病手術5件の寄贈状と漫画本が贈呈され、PHJタイ事務所からCRCの代表へ感謝状をお渡ししました。CRCのメンバー達はPHJタイ事務所が子宮頸がん予防教育を地域のヘルスボランティアに実施している所も見学され、PHJの活動に理解を深めていただきました。

2-4. HIV/AIDS 予防教育

10月には5大学とピア教育スモールスケール・プロジェクトの運営に関し7回打ち合わせ、11月も世界エイズデー(12月1日)の活動向けに5大学と協議しました。この活動を支援してくださっている第一三共株式会社様、地球市民財団へ中間報告書を提出しました。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 母子保健センター — ススカン村

ススカン村の母子保健センターは8月に完成し、助産師は活動をスタートしています。この建設を支援してくださったアステラス製薬株式会社様の現地代表をお迎えして11月はじめに寄贈記念看板を取り付けました。

この1年活動地域では、妊産婦の死亡率ゼロを維持してきましたが、残念ながら死亡のケースがでてしまいました。極度の貧困から、家族が助産師を呼ぶことを強く拒否し、伝統的産婆により双子が誕生。出産後妊婦の容態が悪化。助産師を呼び、助産師の判断で県立病院に移送したものの助かりませんでした。双子は元気です。40歳の高齢で10回目の出産でした。子供は合計11名です。先に述べた第41回運営委員会でこの報告を行ったところ、北里大学の石川先生からこういうケースの対応について専門家としてのアドバイスを頂きました。

3-2. トウンダ島に可搬型太陽光発電システム、分娩室付保健・保育所を寄贈していただきました

富士電機グループ様は貧困地域への社会貢献活動の一環として、PHJの活動地域であるインドネシア・テイルタヤサ地区・トウンダ島・ワルガサ村に可搬型太陽光発電システム、分娩室付保健・保育所を寄贈しました。この発電システムによりお産の際の照明や心音計の充電が可能になりました。<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4ce22e3696dc4>

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. マスクなど日本からの寄贈品が保健省経由 82 病院へ配布されました

PHJ カンボジア事務所は 11 月 12 日ユニ・チャーム株式会社様から寄贈された医療従事者用マスク 16,185 個を保健省へお渡しする式典をアレンジしました。ユニ・チャーム タイランドの代表をお迎えして、保健省で寄贈式が開催されました、このマスクは保健省傘下の国立 82 病院へ配布されます。大塚製薬株式会社様から寄贈されたソイジョイ 3,024 本、サンスター株式会社様から寄贈された歯ブラシ 2,000 本はコンポントム州での母子保健事業に使わせていただきます。

4-2. 保健センターと村とのネットワーク向上 — コンポントム州

各保健センターで毎月 1 回、運営委員と保健ボランティアとの会議が開催され、サービス利用増が報告されています。例えば HIV 検査を一部保健センターで開始し、妊婦さん自ら保健センターへ来て出産するケースが増加しています。これはボランティアの努力のお陰と感謝されています。

10 月には 19 村で保健教育を実施。トピックは「妊婦健診」と「栄養」。参加者は 1 村で平均 37 名、計 700 名です。農産業で忙しい時期でしたが、妊婦さんの積極的な参加が増えました。

4-3. 「安全なお産」支援募金が有効に使われています

2010 年春から実施している妊婦健診・分娩奨励キットの配布は、第 1 期分として各保健センターに 125 個ずつ配布しました、10 月単月で妊婦健診キット 95、分娩奨励キット 56 累計 (5 月から 10 月) でそれぞれ 418 セット、250 セットを配布しました。「安全なお産」支援募金は本当に有効に使われていますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2010 年 11 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン
